



消防出初式で安全祈願

防火防災意識の高揚を図る

1月5日（日）、『占冠消防出初式』が、富良野消防署占冠支署で開催され、職団員39名、来賓36名が列席しました。

出初式では、まず点呼や観閲、続く式典では感謝状の贈呈などが行われ、満35年の勤続者などが表彰されました。消防団員の皆様は、通常は各自の職業に従事されており、いざ災害が発生した際には、いち早く現場に駆けつけ消火活動や防災活動を行っています。



桜の合格箸をいただきました

合格祈願の願いをこめて

合同会社しもかぶ工房（吉田 耕一代表）様から、占冠中学校3年生6人に合格祈願の願いをこめた木工クラフト『桜の合格箸』が寄贈されました。

合格箸は、合格を意味する「サクラ咲く」にちなみ、箸の原材料には山桜が使用され、“合格”にかけて五角形に仕上げられています。受験生にとって心強い縁起物です。



健康教育の充実を図るために

村内の養護教諭が活躍

占冠村では、占冠中学校の齋藤養護教諭と占冠中央小学校の小林養護教諭の二人が村内学校の保健指導等を行っています。

養護教諭が配置されていないトママ学校には、占冠中央小学校と占冠中学校からそれぞれ養護教諭が派遣され、運動会や集合学習といった授業等の業務を支援してきました。村は、村の子どもたちが安心して学校生活を送ることができるように、学校間で養護教諭が協力しながら業務にあたっています。



埋木ワークショップINトママ

自分だけのアクセサリを製作しました

12月21日（土）、自主創造プログラム『埋木ワークショップINトママ』が、ミナトママで開催されました。

ワークショップの講師を務めたのはVOCK代表の長谷川勘太郎さん。参加者は、好きな木と石を選んで自由なデザインで自分だけのアクセサリ作りを楽しみました。当日は40名以上の方がワークショップを体験。親子や夫婦で体験したワークショップは大好評でした。



クリスマスイベントを楽しむ

プレゼントをもらってニコニコでした

12月2日（月）、小規模多機能型居宅介護施設『とま〜る』にてクリスマス会が開催され、中央小学校児童と『とま〜る』の利用者がレクリエーションなどを通して交流を深めました。また、12月23日（月）には占冠保育所で、12月24日（火）にはトママ保育所でそれぞれクリスマス会が開催されました。子どもたちは、サンタさんやしむかっぴーからプレゼントを受け取り、嬉しそうに頬を緩めていました。

